



2017年3月期 第2四半期決算説明資料

2016年11月24日

証券コード:4022

目 次

- 1. 2017年3月期上期実績及び通期見通し**
- 2. 中期経営計画の進捗状況**



1. 2017年3月期上期実績及び通期見通し

2017/3期 上期決算概要

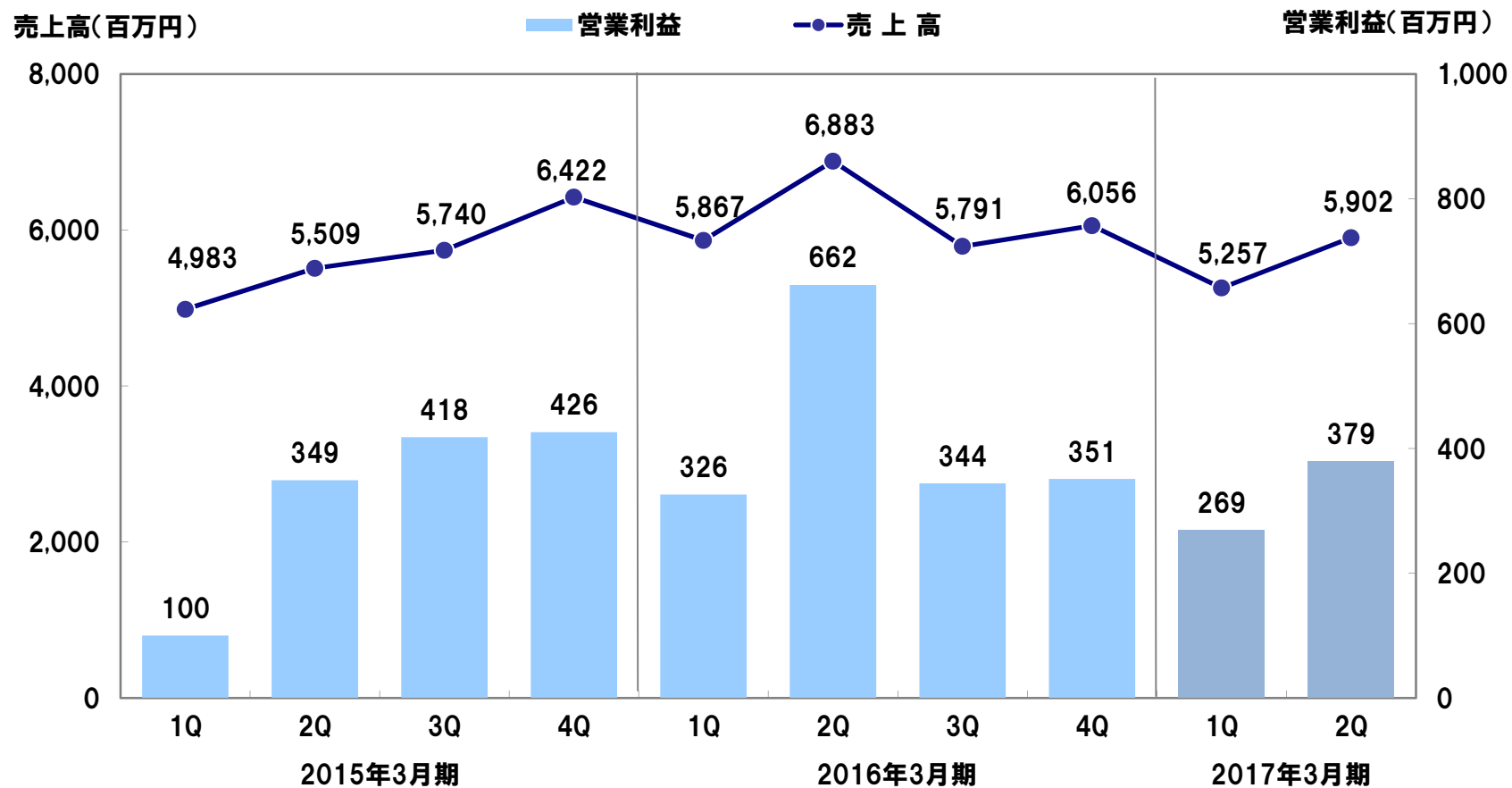
- 放射性ヨウ素吸着剤の販売なく、減収減益。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額の利益計上により大幅な増益。

(単位:百万円)

	2016年3月期 上期	2017年3月期上期		期初計画	対計画比 増減
		実績	前年同期比		
売上高	12,750	11,159	▲12.5%	11,500	▲341
営業利益	988	648	▲34.3%	500	+148
経常利益	788	445	▲43.6%	350	+95
親会社株主に帰属する 当期純利益	604	1,137	+88.1%	1,100	+37

四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移（百万円）



2017/3期 上期セグメント別概要

(単位:百万円)

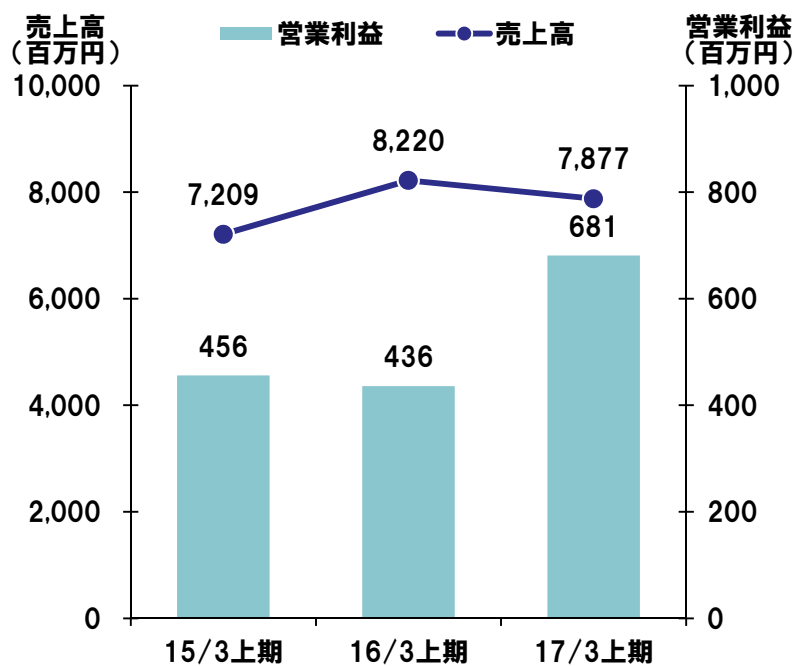
		2016/3 上期	2017/3 上期	増減
化成品	売上高	8,220	7,877	▲343
	営業利益	436 (5.3%)	681 (8.6%)	+245
機械	売上高	2,208	1,907	▲301
	営業利益	148 (6.7%)	31 (1.6%)	▲117
電子材料	売上高	1,663	706	▲957
	営業利益	375 (22.5%)	△4 (―%)	▲379
その他	売上高	657	667	+10
	営業利益	384 (58.4%)	404 (60.6%)	+20

注) カッコ内の数値は各セグメント別の売上高営業利益率

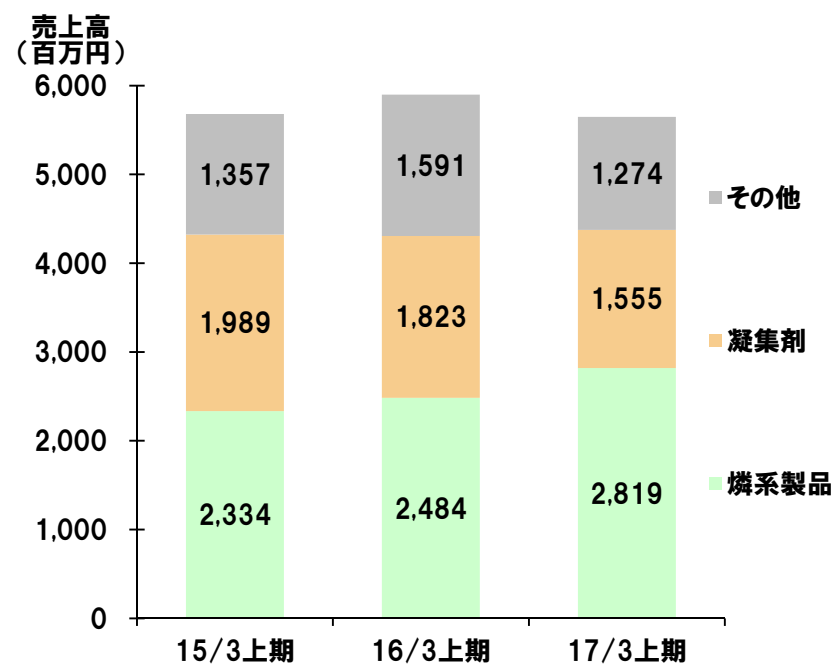
化成品事業

- 燐系製品は、電子工業向け高純度品の販売が引き続き堅調。
- 凝集剤は、上下水道向け、民間向けともに低調。

【化成品事業】 売上高と営業利益の推移 (連結)

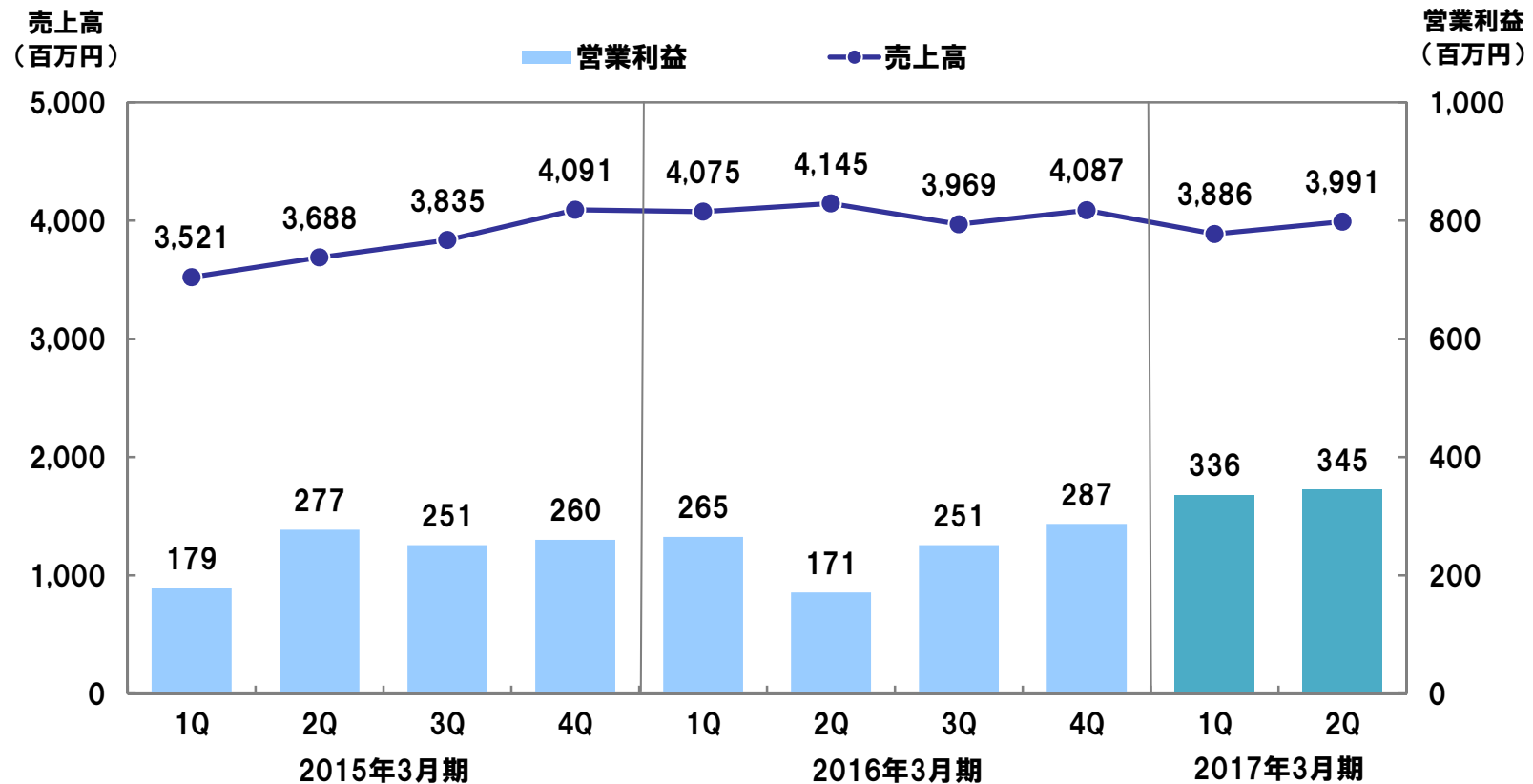


【化成品事業】 製品別売上高の推移 (単独)



化成品事業(四半期業績)

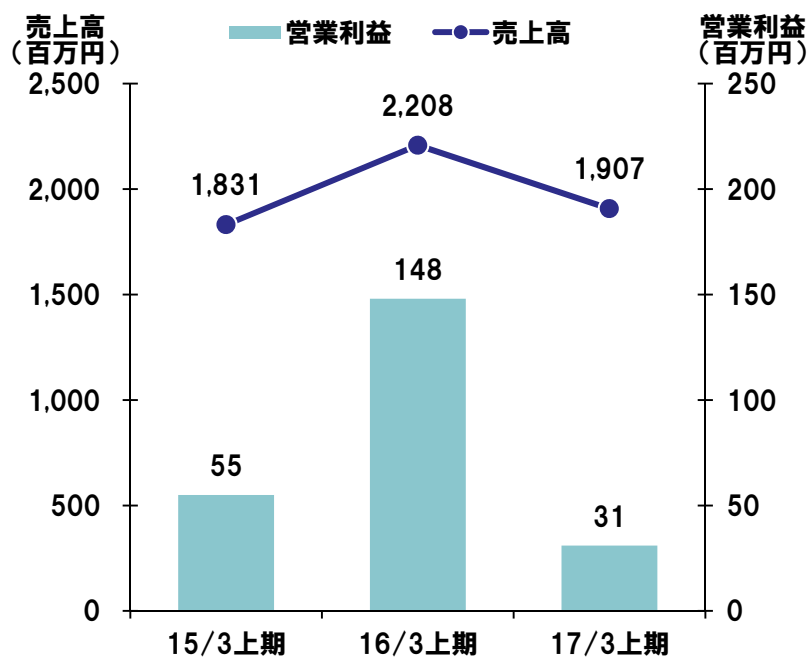
【化成品事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



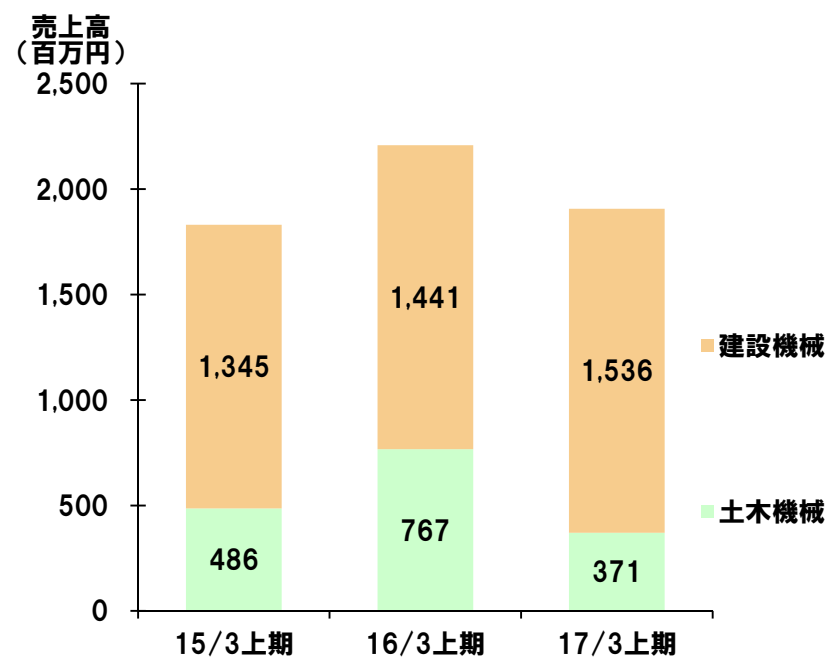
機械事業

- 建設機械は、部品落ち込むも、本体・プラント販売寄与で増収。
- 土木機械は、掘進機の海外向け販売の減少で大幅な減収。

【機械事業】 売上高と営業利益の推移 (連結)

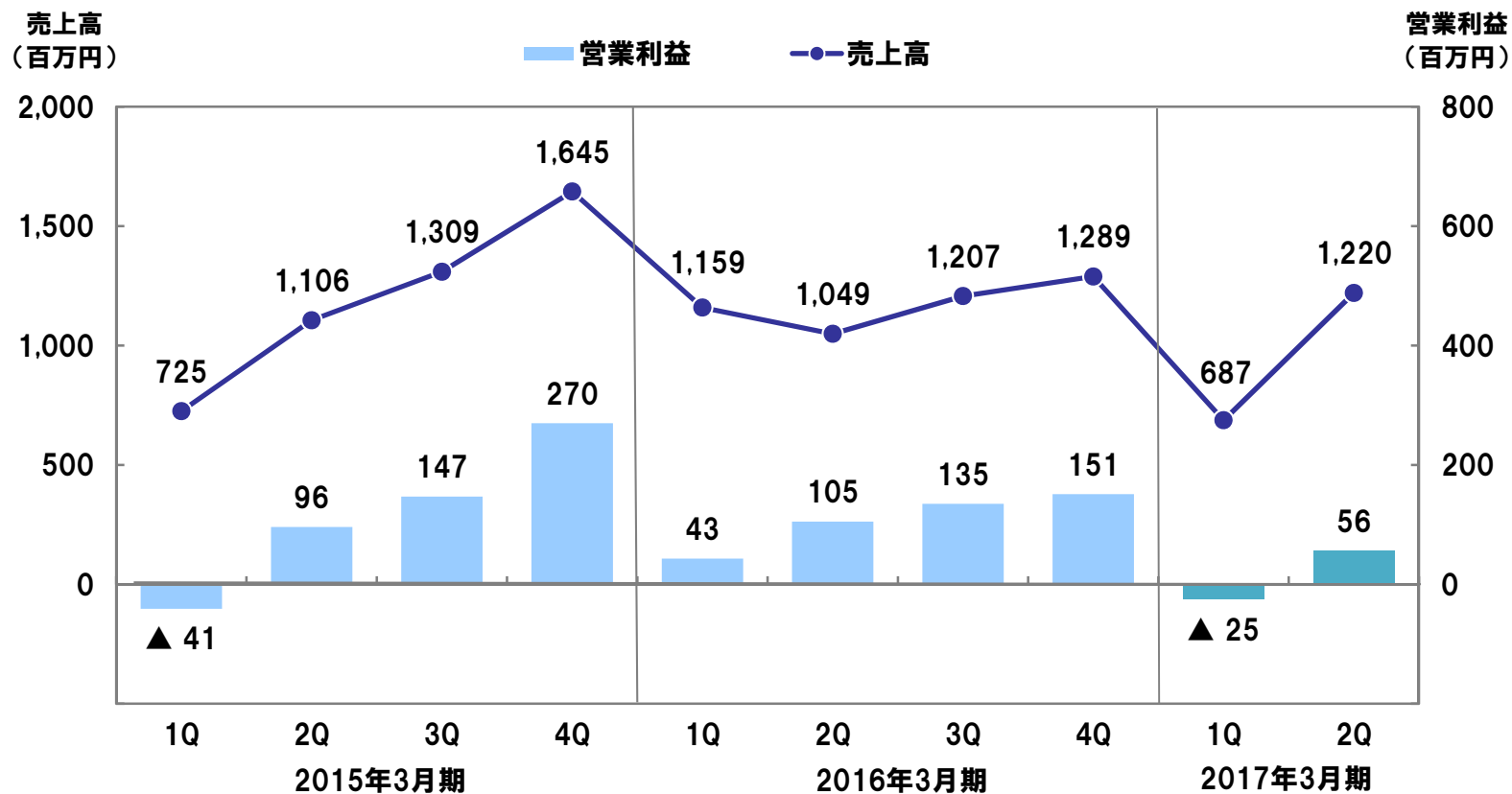


【機械事業】 製品別売上高の推移 (単独)



機械事業(四半期業績)

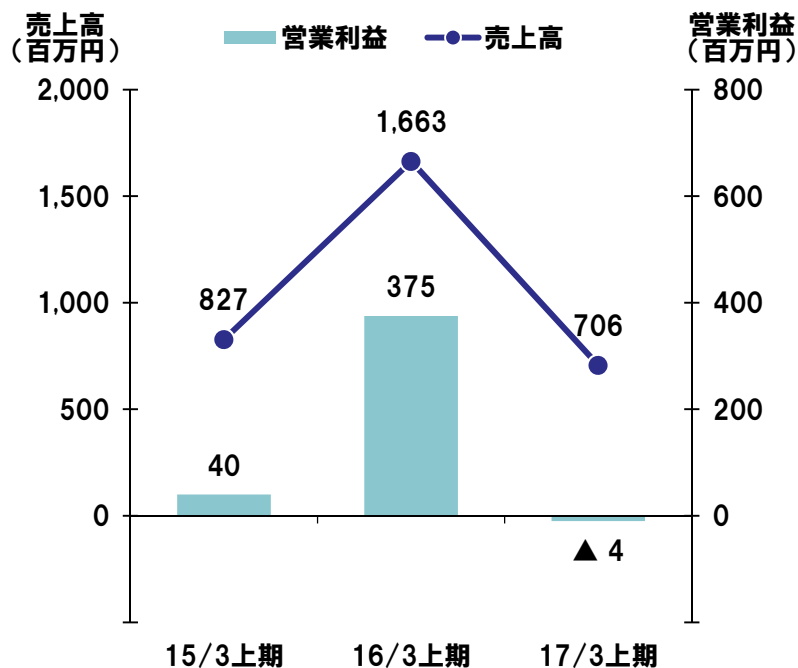
【機械事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



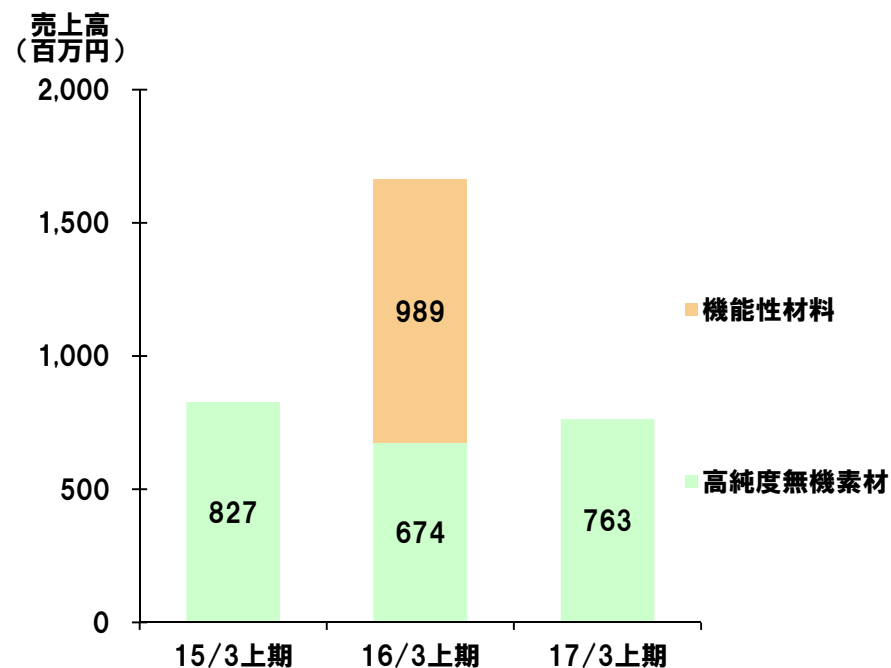
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、ガリウムの苦戦続く一方で、インジウム・液晶向け塗布剤が好調
- 放射性ヨウ素吸着剤の販売なく、減収減益。

【電子材料事業】 売上高と営業利益の推移 (連結)

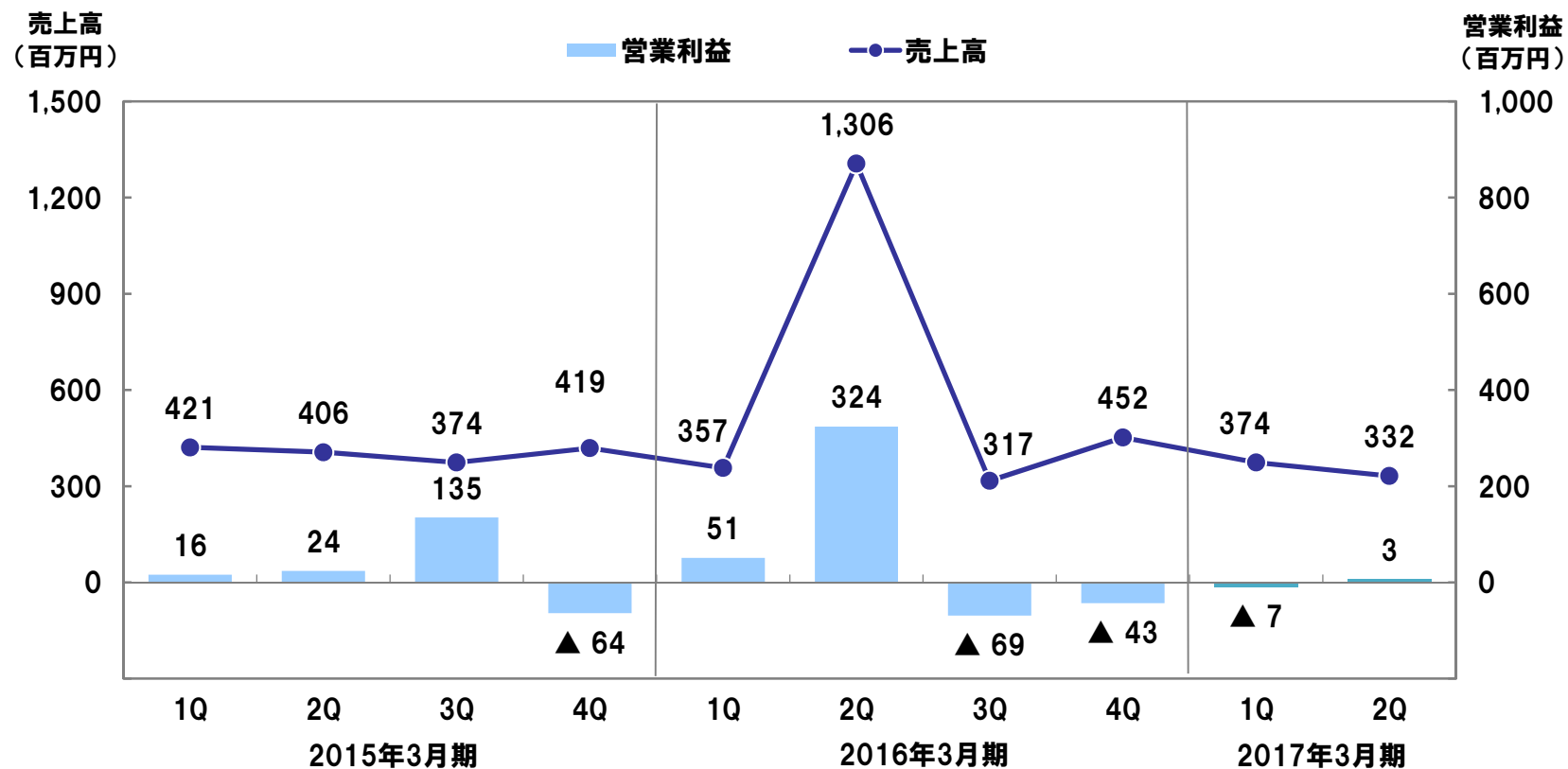


【電子材料事業】 製品別売上高の推移 (単独)



電子材料事業(四半期業績)

【電子材料事業】売上高と営業利益の四半期推移 (連結)



損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	2016/3 上期	2017/3 上期	増減	伸び率
売上高	12,750	11,159	▲1,591	▲12.5%
売上原価	9,813	8,523	▲1,290	▲13.1%
販売費・一般管理費	1,948	1,987	+39	+2.0%
営業利益	988	648	▲340	▲34.4%
営業外収益	95	69	▲26	▲27.4%
営業外費用	294	272	▲22	▲7.5%
経常利益	788	445	▲343	▲43.6%
特別利益	7	-	▲7	-
特別損失	38	37	▲1	-
税金等調整前当期純利益	758	408	▲350	▲46.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	604	1,137	533	+88.1%

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	2016/3月末	2016/9月末	増減
流動資産 計	12,810	12,126	▲684
現金及び預金	2,653	1,909	▲744
受取手形及び売掛金	6,758	6,607	▲151
たな卸資産 ※	2,914	3,051	+137
固定資産 計	15,642	16,276	+634
有形固定資産	12,625	12,365	▲260
無形固定資産	961	957	▲4
投資その他の資産	2,055	2,954	+899
流動負債 計	12,076	11,885	▲191
支払手形及び買掛金	3,446	3,368	▲78
短期借入金	6,449	6,299	▲150
固定負債 計	7,649	6,588	▲1,061
長期借入金	4,272	3,191	▲1,081
退職給付に係る負債	2,912	2,924	+12
純資産	8,727	9,929	+1,202
自己資本	8,709	9,909	+1,200
非支配株主持分	18	20	+2
総資産	28,452	28,403	▲49

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

キャッシュフロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	2016/3 上期	2017/3 上期
営業キャッシュ・フロー	1,028	1,009
税金等調整前当期純利益	758	408
減価償却費	450	446
売上債権の増減額(△は増加)	△719	42
たな卸資産の増減額(△は増加)	776	△199
仕入債務の増減額(△は減少)	△508	△48
法人税等の支払額	△18	△80
投資キャッシュ・フロー	△226	△538
有形固定資産の取得による支出	△221	△531
財務キャッシュ・フロー	△1,090	△1,154
借入金の純増減額	△950	△1,147
現金及び現金同等物 期中増減額	△267	△743
現金及び現金同等物 期末残高	4,648	1,909

2017/3期の業績予想

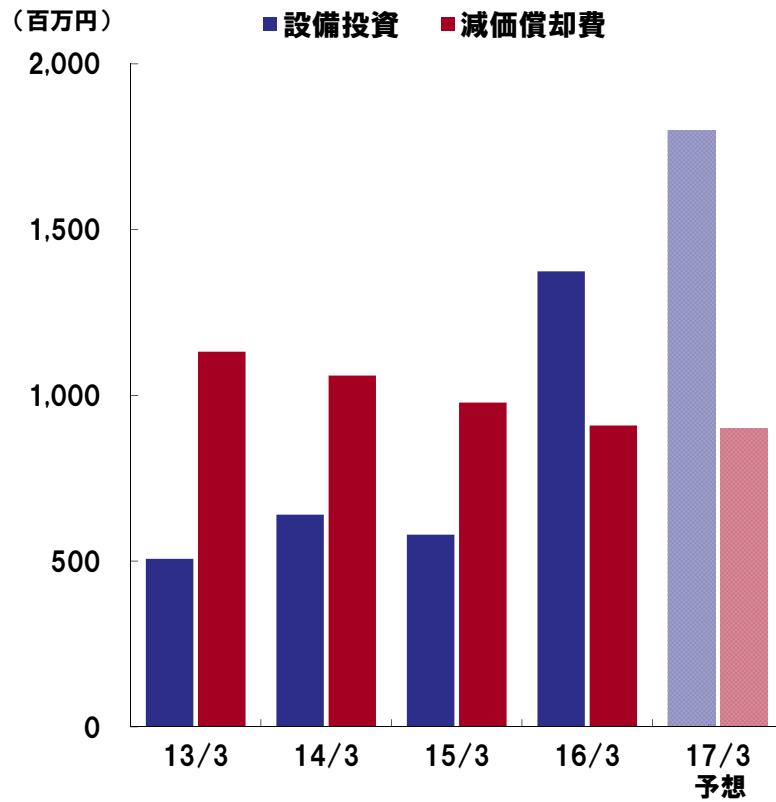
- 半導体向け高純度リン酸や海外向け掘進機輸出の増加を見込むものの、高純度無機素材の収益環境が厳しく、減収減益の予想。
- 放射性ヨウ素吸着剤(AgX)の販売は見込まず。

(単位:百万円)

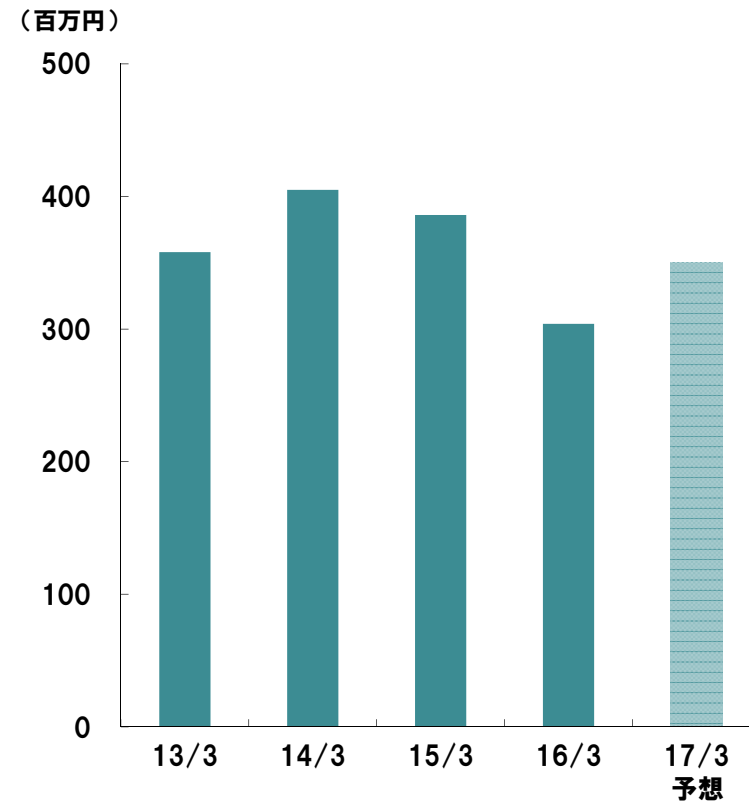
	2016/3期	2017/3期予想	増減	前年同期比
売上高	24,597	24,500	▲ 97	▲0.4%
化成品事業	16,276	16,600	+324	+2.0%
機械事業	4,704	5,200	+496	+10.5%
電子材料事業	2,432	1,500	▲ 932	▲38.3%
その他	1,184	1,200	+16	+1.4%
営業利益	1,683	1,300	▲ 383	▲22.8%
化成品事業	974	1,100	+126	+12.9%
機械事業	434	500	+66	+15.2%
電子材料事業	263	0	▲ 263	-
その他	716	600	▲ 116	▲16.2%
全社費用など	▲ 705	▲ 900	▲ 195	-
経常利益	1,226	1,000	▲ 226	▲18.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	662	1,700	+1,038	+156.8%

設備投資及び減価償却費推移

設備投資・減価償却費（連結）



研究開発費（連結）



2. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画(2015～2017年度)の概要

第八次中期経営計画

～「安定した収益力」と「財務健全化の達成」の両立を目指す～

安定的な配当体制の構築

数値目標

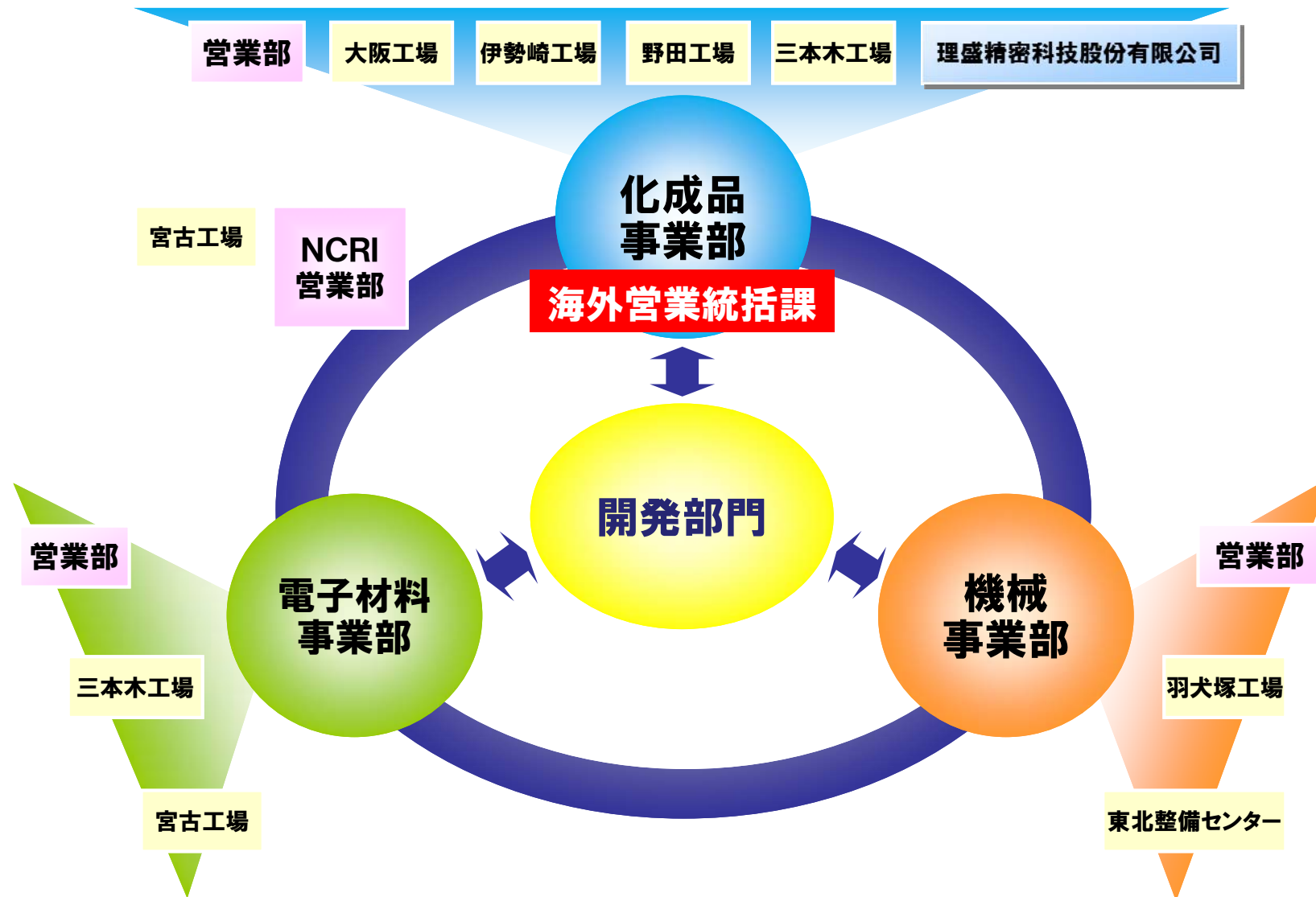
- 連結営業利益 最終年度15億円
- ネットD/Eレシオ 0.7倍以下

事業戦略

- ◆ 既存事業の強化・領域拡大
- ◆ グローバル化への対応強化
- ◆ 新規事業への注力

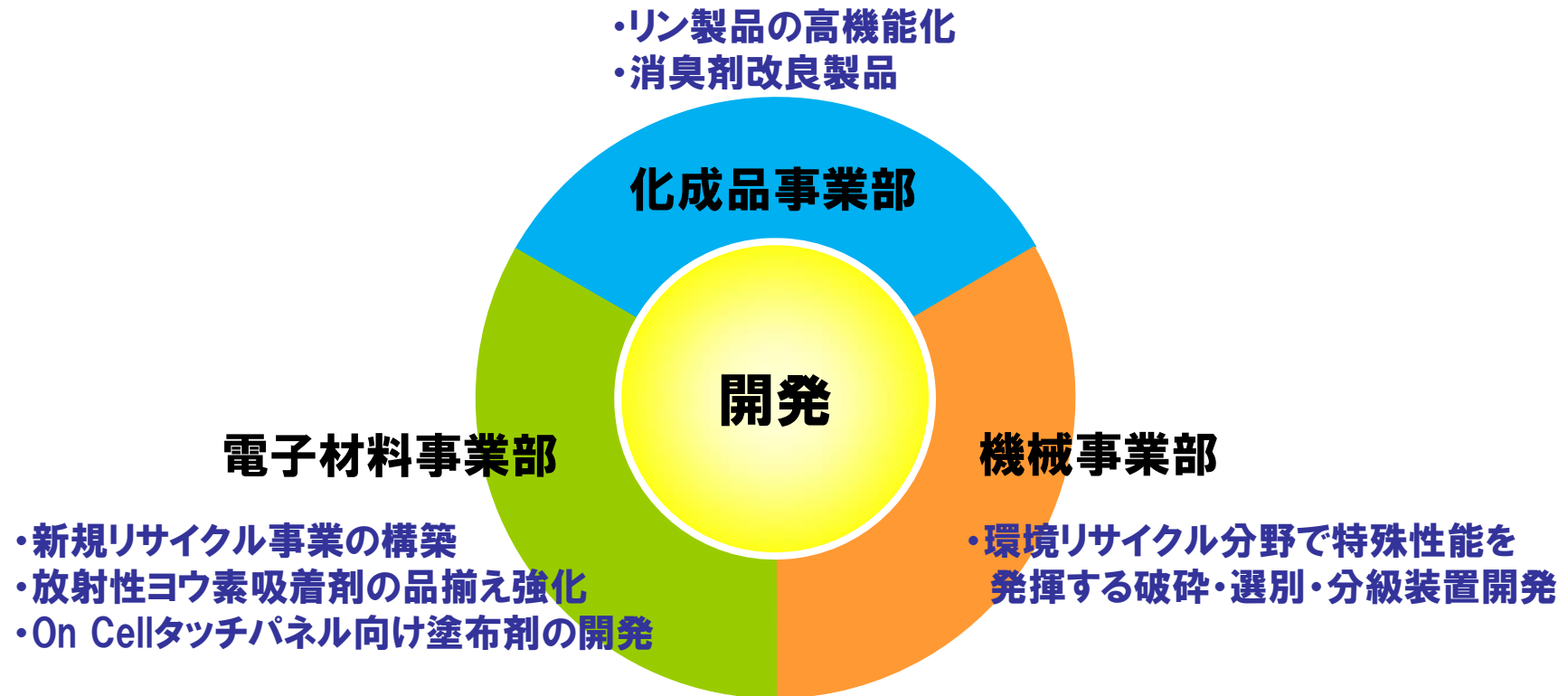
効率的な組織運営＋経営管理の見える化推進＋コンプライアンスの徹底

安定収益の確保に向けた効率的な組織運営



営業との連携を強化する開発体制

ターゲット領域 「電子産業分野」、「ファインケミカル分野」、「リサイクル分野」

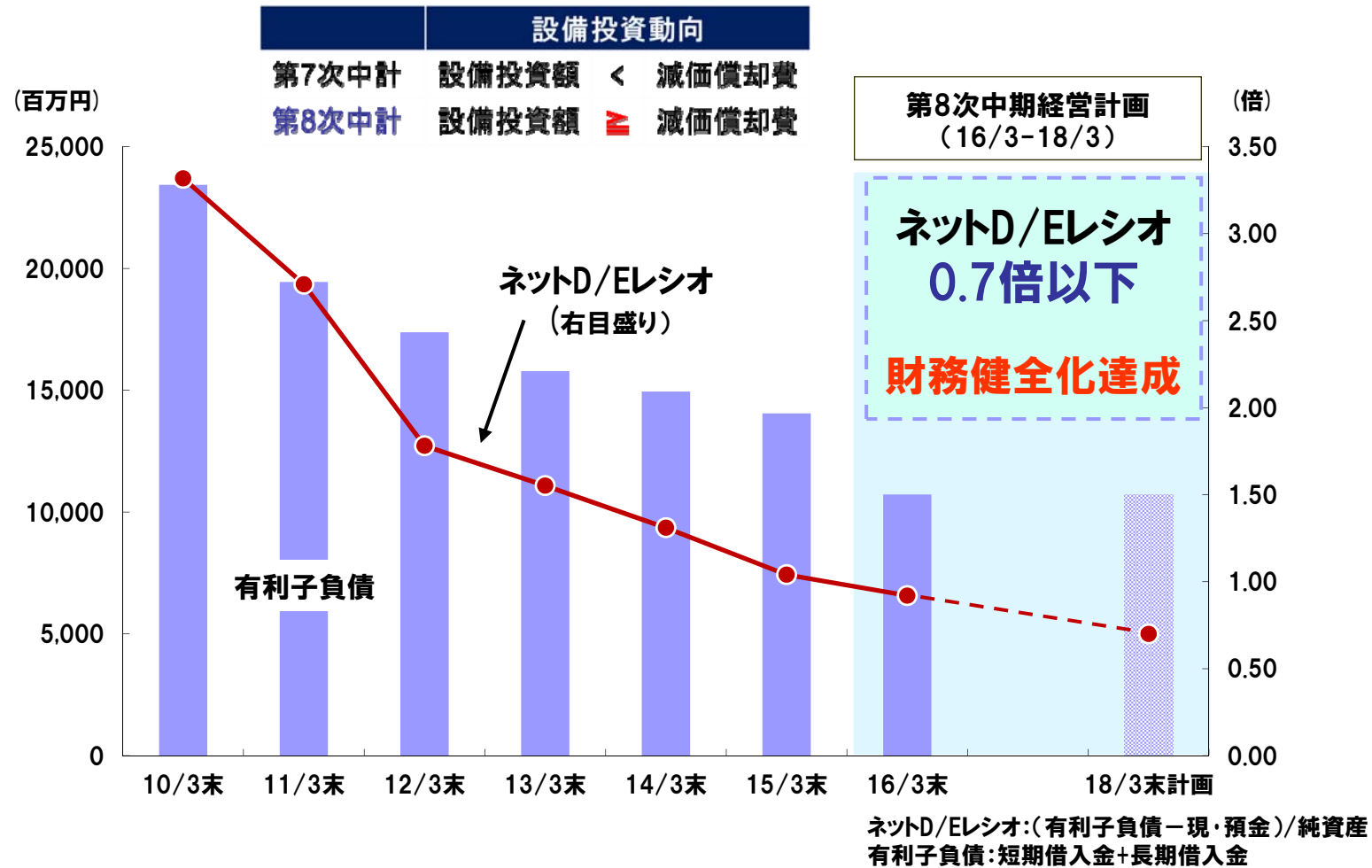


第8次中期計画の事業戦略

全社方針	施策
既存事業の強化・ 領域拡大	<ul style="list-style-type: none">・ 既存商品拡販による収益基盤の安定化・ 営業力強化とコスト削減・ 事業採算性の管理強化
グローバル化への 対応強化	<ul style="list-style-type: none">・ 販売・仕入ともに海外マーケットへの取組み強化・ 原料の安定確保の強化
新規事業への注力	<ul style="list-style-type: none">・ ユーザー拡大と高付加価値化・ 製品開発と営業の連携強化

財務健全化の数値目標

成長投資を選別し財務健全化達成を目指す



中計初年度(2015年度)の施策と総括

化成品事業の海外市場の開拓を進めるも、
電子材料事業の収益改善策にやや遅れ

	化成品事業	機械事業	電子材料事業
施策	<ul style="list-style-type: none"> 海外営業統括課の最大活用 台湾子会社の海外拠点化 新規製品探索 	<ul style="list-style-type: none"> 新規需要の取り込み 海外向け掘進機販売強化 粉体向け機械販売の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 高純度無機素材の収益改善策 AgXの営業強化 RAMM開発センターの積極活用
計画線	<ul style="list-style-type: none"> 消臭剤の海外市場開拓 高純度リン酸の拡販 	<ul style="list-style-type: none"> 海外向け掘進機販売強化 	<ul style="list-style-type: none"> AgXの営業強化
やや遅れ	<ul style="list-style-type: none"> リン酸二次塩類等の海外新規顧客開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 震災・復興関連 粉体向け機械販売 	<ul style="list-style-type: none"> 高純度無機素材の収益改善策

今期重点施策

化成品事業

- 高純度リン酸の拡販 — 機会拡大
 - ✓ 日韓台の半導体メーカーの増産計画
 - ✓ 生産・供給体制の検討
- 台湾子会社の海外拠点化推進
 - ✓ ラサ製品の営業活動

機械事業

- 震災復興関連の取り組み
 - ✓ 減容化(破碎・選別)機械の獲得、骨材需要(インフラ整備)
- 粉体向け機械販売の強化
 - ✓ 顧客ニーズにマッチした製品開発加速

電子材料事業

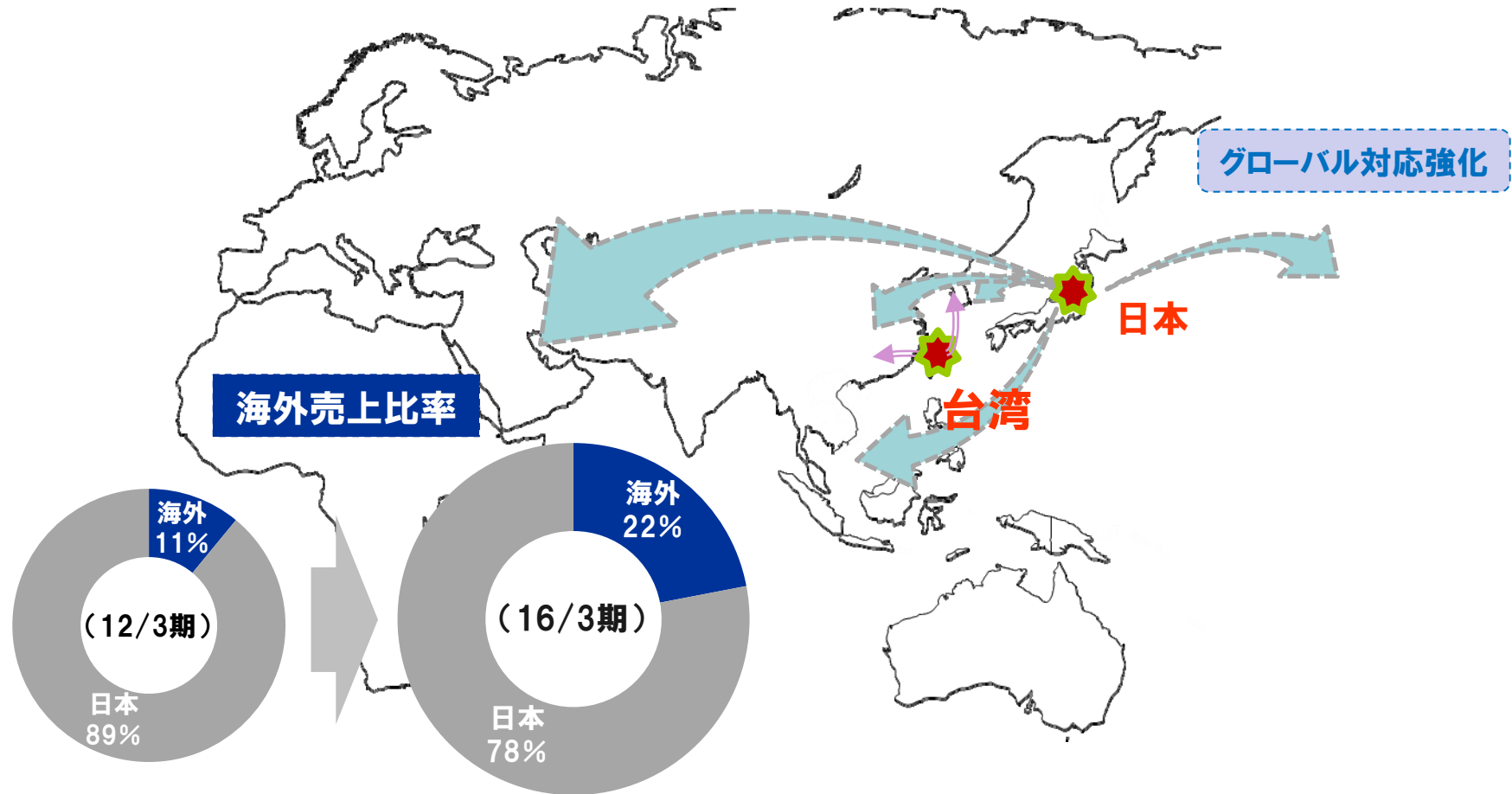
- 高純度無機素材の収益改善策
 - ✓ コスト削減・在庫圧縮

海外市場の現状と取り組み

現状

海外生産: 台湾内需向け中心の高純度リン酸

輸出対応: 下水道向け掘進機、高純度無機素材など



本資料に関する注意事項

- 本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

—IRに関する問い合わせ窓口—
ラサ工業株式会社 経理部
03-3278-3892